

## 新しいalaクルーズがスタート 臨時総会開催



平成23年9月25日(日)11時より演劇練習室に於いて、平成23年度alaクルーズの臨時総会が開催されました。alaクルーズは細やかな議論を続けてきた組織検討委員会の提言を受けて運営や組織の改変がなされました。それに伴い、総会において議決を要する事項について本臨時総会が開催されました。正会員数64名のうち出席者数が委任状を含め51名で総会が成立したことが宣せられました。最初に澤野理事長



より「来る11月でalaクルーズは設立10年を迎える。新クルーズが発足する訳だが、組織を変えただけでalaクルーズが変わるわけではなく、個人個人がそれに向かって行かなければならない。今後ともよろしくお願ひしたい」と挨拶されました。寺松さんを議長に選出、鬼頭さん、堀尾さんが議事録署名人に指名され、澤野理事長より第1号議案「alaクルーズ運営組織形態変更」について、第2号議案「定款変更」について、第3号議案「組織役員変更の案」についてそれぞれの説明がなされ、それぞれの議案が全会一致で承認されました。来賓の筆橋局長から「alaクルーズが10年経って検討委員会の議論の末、定款が変えられ新クルーズが発足するということはおめでたいこと。入場者は右肩上がりに増えてきている。alaコレクションシリーズで、平幹二郎さんも可見に滞在中ですが、市民のサポーターなど各方面で募集して協力しながら進めている。現在の会員数64名は適正な人数と思っている。財団も協力して日本一のホールを目指して進めていきたい」とのご祝辞をいただきました。最後に澤野理事長より「これからはグループ会議に変わり、月一回の定例会が毎月第2土曜日に開催される」ことのお知らせがあり臨時総会は閉会されました。その後、交流会が行われました。軽食を取りながら、新しいalaクルーズへの意見交換がなされてました。



楽しい  
交流会



## 茅野市民館視察

平成23年10月23日(日)長野県にある茅野市民館視察研修がありました。参加者は25名、財団からは坂崎氏が同行され、午前7時に出発。朝のうち降っていた雨もあがり、天気はほぼ晴れ。バスの中で澤野理事長より「茅野市民館はボランティア活動においてalaクルーズと共通点がある。コミュニケーションを取って今後の励みにしていただきたい」と挨拶がありました。10時に市民館に到着。茅野駅に隣接した複合施設でした。建物は以前、寒天づくりをしていた場所に建てられていて壁面には大きなひしゃくや天切り包丁等、床には寒天づくりの工程が描かれたタイルがあり文化を感じました。サポートCの原理事長によるピアノの演奏「紅葉」に感激した後、互いの活動を紹介。「今年の3月17日に可児を訪問する予定でしたが震災のため中止しました」という原理事長のご挨拶に続いて、辻野専務から「ここは指定管理者制度で、運営は株式会社地域文化創造とNPO法人サポートCとで共同運営・事業運営をしています。半日、ゆっくりお過ごしください。」という言葉いただきました。alaクルーズの澤野理事長から「館の運営をボランティアと共同で行っていることで、サポートCとは通ずるものがあります。交流の時間がもてたことをうれしく思います」と話があった後、市民館の紹介映像を見ました。中でも数人が2～3時間で座席を移動させることができる設備が、大変珍しかったです。小池事務局長よりサポートCの活動の紹介が行われた後、星乃もと子先生が合流されました。サポートCにおいてもフロントスタッフの指導をされたばかりだそうで、今後の活躍が期待されます。alaクルーズの活動報告の後、質問タイム。「alaクルーズのフロントスタッフの制服が素敵ですが自分持ちですか？」(財団から貸与です。お辞めになる時は返してもらいます。)  
「アール券について、教えてほしい」(一つの事業は2時間が基本ベースになっていて1アールは100円です。クルーズから出してほしいと言ったわけではなく、財団からアール券のお話をいただきました)など、多数の質問が寄せられ、熱気あふれる時間となりました。サポートCさんと一緒に昼食を楽しみながら、しばし歓談。手作りの味噌寒天(黒蜜つき)や青トマトのピクルスなどご馳走になりました。名残りがつきない中、施設見学と写真撮影の後、市民館を発ちました。一行はそのまま山下清画伯の絵が多数所蔵されている「放浪美術館」へ。芸術の秋を満喫。釜飯で有名な「おぎのや」に立ち寄った後、帰宅しました。篠田幹事の「視察の企画実施は結構時間がかかるが、たくさんの参加があり、やりがいがありました」との言葉を胸にバスを降りました。茅野市民館のサポートCさんと交流ができ、充実した一日となりました。



域文化創造とNPO法人サポートCとで共同運営・事業運営をしています。半日、ゆっくりお過ごしください。」という言葉いただきました。alaクルーズの澤野理事長から「館の運営をボランティアと共同で行っていることで、サポートCとは通ずるものがあります。交流の時間がもてたことをうれしく思います」と話があった後、市民館の紹介映像を見ました。中でも数人が2～3時間で座席を移動させることができる設備が、大変珍しかったです。小池事務局長よりサポートCの活動の紹介が行われた後、星乃もと子先生が合流されました。サポートCにおいてもフロントスタッフの指導をされたばかりだそうで、今後の活躍が期待されます。alaクルーズの活動報告の後、質問タイム。「alaクルーズのフロントスタッフの制服が素敵ですが自分持ちですか？」(財団から貸与です。お辞めになる時は返してもらいます。)  
「アール券について、教えてほしい」(一つの事業は2時間が基本ベースになっていて1アールは100円です。クルーズから出してほしいと言ったわけではなく、財団からアール券のお話をいただきました)など、多数の質問が寄せられ、熱気あふれる時間となりました。サポートCさんと一緒に昼食を楽しみながら、しばし歓談。手作りの味噌寒天(黒蜜つき)や青トマトのピクルスなどご馳走になりました。名残りがつきない中、施設見学と写真撮影の後、市民館を発ちました。一行はそのまま山下清画伯の絵が多数所蔵されている「放浪美術館」へ。芸術の秋を満喫。釜飯で有名な「おぎのや」に立ち寄った後、帰宅しました。篠田幹事の「視察の企画実施は結構時間がかかるが、たくさんの参加があり、やりがいがありました」との言葉を胸にバスを降りました。茅野市民館のサポートCさんと交流ができ、充実した一日となりました。



# イルミネーション

イルミネーション制作の初会議が、まだまだ残暑が厳しい9月23日に行われました。「今年は、東北の震災・原発問題・洪水被害などがあり、皆さんに元気を出してほしいという応援を込めて制作しよう」ということになりました。その気持ちをメッセージにと、8名のスタッフがいろいろ案を出し合い話し合い、やっと“不死鳥”に決定。“祈復興”の文字も入れよう。「ん〜形が難しい！」と言いながらもそこは毎年イルミネーションを手掛けている、心強い人たちの集まりです。製図はあの人、配線はあの人、制作はみんなと、と製作室で這いつくばっての作業ですが、さすがスムーズにテキパキと進んでいきます。すいぶん形になってきた頃「点灯してみよう」ということでスイッチ・オン。「あれー！とこるところ灯りが消えている！」予算の少ない中、去年の電球を使った為の出来事なのです。唖然、反省、すぐやり直し。何日も何回も集まっての作業で試行錯誤しながらもやっと完成することができて一安心。11月13日に野外ステージに取り付け、11月17日に仮点灯。また、電球が切れている部分があり創造スタッフ室でやり直し、やっと完成することができました。



『わたしたちは、あの日を忘れない……』

## ゆめホテル mini シェード制作

11月19日(土)午後2時30分より、木枯らしの吹く大変なお天気でしたが、子ども9人を含む24名の方が参加され開催しました。6名のalaクルーズスタッフの指導で、まず風船を膨らまします。「風船の色、何色にしようかな」と迷う子どもの仕草も可愛かったのですが、実はこの風船、最後に虫ピンで刺され除かれてしまうものでした。膨らませた風船をラップで包み、その周りを紙紐で巻きつけシェードの骨組を作って行きます。紙紐の骨組みが出来たら、1~3cmに切った半紙で骨組みを覆うように、速乾性の接着剤で紙紐とラップが完全に隠れてしまうまで貼り付けていきます。風船が大きいと貼り付ける面も大きくなります。ただひたすら半紙に接着剤を塗ってはペタペタと貼るだけの作業が1時間余過ぎました。大変そうだと参加者に感想を聞くと、「ただ貼るだけですが、楽しかったです。」「無心にやれました。童心に返ったみたい。」「と笑顔が返ってきました。皆さんが貼り終わったら、今度はスタッフが大変でした。半紙に被災地復興に向けたメッセージを描いてもらうため、ドライヤーで半紙を乾かすのですが、どしゃ降りの雨で部屋はいつもより湿気が多く、接着剤がなかなか乾きません。本来は自然乾燥で1日置くのだそうです。乾くまでの間に、最後の工程であるLED照明キット作りを始めることになりました。電気部品の組み立ての細かい作業がしばらく続きます。組み立てが終了して照明のスイッチを入れると、点きました！赤、青、緑のきれいな灯りの点滅です。しかし、ここでハプニング！一部のキットに赤のランプが点かなかったのです。しかし、サンプルで作っておいたキットと交換したり、部品の組み立てをチェックしたりして参加者全員の照明を点けることができました。そうこうして出来たシェードに皆さんが思い思いのメッセージを描き入れました。赤と青の花、がんばるぞにっぽんの文字など、七色の灯りで浮かび上がります。最後に風船を取り除いて出来上がりです。皆さんが作品を持って外にでた時すでに外は真っ暗でしたが、昼までの雨はすっかり上がっていました。6時の点灯式で20個のシェードとalaクルーズの祈復興のイルミネーションに灯りが灯った時、歓声が上がりました。4時間に及ぶワークショップに「楽しかったです。想像してたより素敵にできました。家でも作ってみようと思います」「色がとても良かった」「講座に参加するのは初めてでしたが、参加して楽しかった」とコメントを頂きました。

# ala クルーズフロントスタッフ研修

11月4日(金)19時～21時。 5日(土)9時30分～12時まで星野もと子氏による研修が行われました。「フロントスタッフの基本を再確認する」と題して一日目は主劇場で現場研修を。二日目は二階のデジタルアート工房で座学を復習しました。新しく入られた方や財団を含め両日20名が参加。始めに箆橋事務局長より「公演が成功するかどうかはフロントスタッフにかかっているといってもいい」とご挨拶を頂いた後、自己紹介をしました。今回の研修では、先生のご提案により日頃実践している中で疑問に思っていることを挙手にて質問し、答えていただくことに。最近行われた公演で困ったことへの質問から、場内監視の椅子の位置の再確認など、大変、具体的でわかりやすかったです。普段めったに空いていない主劇場の中で密度の高い研修となり、あっという間に終了。熱の入った学びでした。二日目は座学。大事な話ばかりで皆、真剣に聴き入っていました。『表方』という聞きなれない専門用語や応用の効く人になるために大切なことを学びました。その後、レストランカテリーナの2階に移り、交流会が行われました。連日の研修で生き生きとした面々。かなりモチベーションが上がったようでした。「これからも要所、要所で星野先生に来ていただく」という箆橋局長の挨拶で終了しました。新しく研修で学ばれた方も参加し、楽しい時間となりました。



## 進め! (完) alaクルーズ



### ギャラリー展示

『神様・仏様』 平成24年1月18日(水)～23日(月)  
18・19・20・23日 午前10時～午後5時  
21・22日 午前10時～午後6時

### ボランティア講習会事業 (会員用)

平成24年2月19日(日)  
講師 大阪ボランティア協会 永井氏  
演題 市民へのコーディネートはどうしていくか

### 笑刻展事業

『パロディ笑刻展の世界』  
平成24年3月3日(土)～11日(日)  
午前10時～午後6時

### 第4回手作りタイル事業

立案企画中  
6月初旬制作予定

### 編集後記

早いもので後1ヵ月もしたら、新年なんです。新しいクルーズがスタートして2ヵ月が経ちました。この広報も31号。この調子で行ったら、すぐにお爺さん、お婆さんになってしまいます。やれることは今のうちにやっつけてしまわないと! ドラゴンズだってセリーグ2連覇したんです。可能性があるうちに!! さあ練習! 練習! (o) . . . \*

ala クルーズ事務局 TEL/FAX : 0574-61-3414  
http://www.kpac.or.jp/alacrews/  
Mail : ala-crews@kpac.or.jp